

## お米のおいしさ・米菓(ポン菓子)を世界へ

## (有)澤田米穀店(北斗市)



## 【組織等の概要】

- 業種：米穀販売業、コメ加工品製造業等
- 所在地：北斗市中央2-3-1
- 輸出品目：米菓
- URL：<https://sawada-gohan.com/about/>

## 【取組の経緯】

## ◆【澤田米穀店のこだわり】

- お米のおいしい食べ方の提案

・化学肥料を減らした特別栽培米の提供、  
JGAP認証の原料を使ったポン菓子、玄  
米のクラフトビール等オリジナル商品開発

## ◆【澤田米穀店の強み】

- 経営規模が小さい

・原料調達から製品までの安全性を管理  
することが容易であり、子供のアレルギー  
対策にも対応可能  
・味付けを工夫することで輸出先国の嗜好  
に合わせることも容易



- ◆2018年(平成30年)ジェトロ北海道が開催したシンガポールの商談会にポン菓子を試行出展



海外でも北海道産の農産物を原料とする食品の安全性への信頼度が高く、食物アレルギー対策としてもポン菓子の需要が見込めることを実感

## ◇【輸出実績・目標】

	輸出数量 (kg)
2020年(令和2年)実績	20
2023年(令和5年)目標	400
2025年(令和7年)目標	1,200

## 【取組と成果】

- 特別栽培米を生産する知内町帰山農園(JGAP認証)とともに農商工連携事業の認定を受け自社工場を整備
- 消費期限を長期化(1年)するために、北海道食品加工研究センターの技術支援を受け、加工菓子で油を使用せずに製品を作る特許を取得
- 品質保持のため、低温貯蔵倉庫を建築
- 輸出コストを削減するため、マレーシア向けについて商社経由から自社直接取引に変更



2020年(令和2年)には輸出先国(マレーシア、アメリカ、中国、シンガポール)へ20kgを輸出

## 【今後の展望】

- 新たな輸出先国としてベトナム、タイの商談を継続するとともに、農林水産省の補助事業を活用して加工場を拡充
- 輸出先国のマーケットインに対応した菓子の形状や味、パッケージの検討



2025年(令和7年)の輸出数量を現在の60倍である1,200kgを目指す